

第4回かごしま水族館市民講座

# 鹿児島県の海のほ乳類

～かごしま水族館の調査研究から～

オリジナル書籍  
「鹿児島県の海の  
ほ乳類」出版記念

現地開催とZoomによるハイブリッド開催

2024年

10月6日 日

ここまでわかった！

イルカ  
研究  
最前線

場所 | かごしま水族館  
1階 レクチャールーム

時間 | 10:00～16:00

定員 | 現地で参加 50名 (抽選)  
Zoomで参加 200人 (先着)

※小学校高学年以上を対象とした内容です。

## 市民講座スケジュール

吉岡 基 (三重大学 教授)

「水族館と研究機関との共同研究 - その意味と必要性」

興 克樹 (奄美クジラ・イルカ協会 会長)

「奄美大島における鯨類の保全と活用」

中村 潤平 (かごしま水族館 学芸員)

「鹿児島県の海棲ほ乳類相」

森阪 匡通 (三重大学大学院 教授)

「イルカの目と音～かごすいととの共同研究～」

酒井 麻衣 (近畿大学 准教授)

「今日からできるイルカの行動観察」

西田 美紀 (人間環境大学 准教授)

「ご近所さん？天草のミナミハンドウイルカ、  
どうしているか？」

小木 万布 (元・御蔵島観光協会 事務局長)

「野生動物との距離を考える  
御蔵島のイルカウォッチングから」

山本 知里 (福山大学 講師)

「かごしま水族館で行う認知研究」

柏木 伸幸 (かごしま水族館 学芸員)

「水族館で研究？水族館で何を調べるか？」

15:00～ 認知実験デモンストレーション  
「イルカは周りにあわせるか？」

申込方法 当館ホームページ「お知らせ」内の応募フォームの  
リンクから必要事項を記入の上ご応募ください。

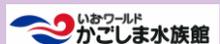
http://ioworld.jp

締切 9月20日 (金)

お問合せ かごしま水族館  
〒892-0814 鹿児島市本港新町3-1  
TEL: 099-226-2233 FAX: 099-223-7692  
E-mail: info@ioworld.jp



応募フォームQRコード



かごしま水族館は開館以来、鹿児島県のイルカやクジラたちの調査・研究を行ってきました。今回の講座では当館と共同で研究をされている先生方や全国のミナミハンドウイルカの生息地で研究をされている先生方に最前線の研究を語っていただきます。

#### 第4回かごしま水族館市民講座

## ここまでわかった！イルカ研究最前線 鹿児島県の海のほ乳類～かごしま水族館の調査研究から～

### 「水族館と研究機関との共同研究-その意味と必要性」

吉岡 基（三重大学 教授）

水族館は、鯨類研究のひとつの重要なフィールドである。研究機関での鯨類飼育は困難なため、自ずと水族館に依存して研究が進む。また、水族館は大半が沿岸にあるため、野生個体との関係も深い。水族館スタッフに研究者が加わることで新たな共同研究の形が生まれ、鯨類の理解が進む。そんな側面の一端をご紹介します。

### 「奄美大島における鯨類の保全と活用」

興 克樹（奄美クジラ・イルカ協会 会長）

奄美クジラ・イルカ協会で行っているザトウクジラやマッコウクジラ、ミナミハンドウイルカの出現及び個体識別、影響評価調査について紹介します。

### 「鹿児島県の実地調査による鯨類相」

中村 潤平（かごしま水族館 学芸員）

鹿児島県の実地調査による鯨類相が調査した結果、鯨類2種、海牛類1種、鯨類28種が確認されていることが明らかになりました。鹿児島県の実地調査による鯨類相の種多様性を当館が実施してきた調査・研究を交えて紹介します。

### 「イルカの目と音～かごすいととの共同研究～」

森阪 匡通（三重大学大学院 教授）

イルカにはどんなふうに世界が見えているのでしょうか？目も使えるのに音でもまわりを「見る」ことができます。私たちとはずいぶん違うイルカの感覚の世界へようこそ！

### 「今日からできるイルカの行動観察」

酒井 麻衣（近畿大学 准教授）

かごしま水族館では、ハンドウイルカの社会行動や環境エンリッチメントに関わる研究を行ってきました。今回は時計と紙と鉛筆があればできる行動観察を紹介します。皆さんも今日からイルカを観察してみませんか。

### 「ご近所さん？天草のミナミハンドウイルカ、どうしているか？」

西田 美紀（人間環境大学 准教授）

かごしま水族館から北北西に100kmあまり離れたところ、天草にも野生のミナミハンドウイルカが暮らしています。じっさいのフィールド調査の様子をご紹介します。天草のイルカの特ちょうや魅力をお伝えします。

### 「野生動物との距離を考える 御蔵島のイルカウォッチングから」

小木 万布（元・御蔵島観光協会 事務局長）

クマやイノシシだけでなく、イルカとの接触事故といった野生動物とヒトとの摩擦がニュースを賑わしています。御蔵島のイルカウォッチングの状況を紹介しつつ、野生動物とヒトとの適正な距離について話題にしたいと思います。

### 「かごしま水族館で行う認知研究」

山本 知里（福山大学 講師）

社会的群れでくらすハンドウイルカは、群れのメンバーとうまく付き合う認知能力を持つと予想されます。かごしま水族館と共同で進めてきた行動観察や認知実験について紹介し、本種の社会的な認知能力について考察します。

### 「水族館で研究？水族館で何を調べるか？」

柏木 伸幸（かごしま水族館 学芸員）

皆さんは水族館が研究しているというイメージはありますか？水族館ではいろいろな目的で研究をしています。かごしま水族館で行っている研究について紹介します。